

**ARTS**  
ART DIRECTORS RETURN TO SCHOOL

上の世代を  
ジヤママだと思っ  
人がいい。

**ARTS**  
ART DIRECTORS RETURN TO SCHOOL

# ARTS

日本で唯一の、アートディレクションを教える学校、それが宣伝会議アートディレクター養成講座です。今年で第12期を迎え、これまで1000名以上の方が本講座で学び、アートディレクターとして活躍をしています。デザインの技術だけを学ぶのではなく、広告・コミュニケーションの舞台上で活躍するためのアートディレクションの基礎から応用までを一流の講師陣が指導。原石は磨かれてこそ宝石へ。大手広告会社の方も、制作会社・プロダクションの方も、フリーの方も。グラフィックデザイナーも、ウェブのデザイナーも、エディトリアルデザイナーも。ARTSという名の他流試合で、自らを見つめ直し、掘り下げる。そして今よりもう1段階、自分を引き上げる。今、この時代に求められるアートディレクターになるために必要なことが、ARTSで学べます。

## 講座概要

### 開講日

2011.6.25 Saturday

実施日	火曜(毎週)19:00~21:00 土曜(月に1回程度・課題演習クラス)13:00~16:00
講義回数	全30回(約6ヶ月)
受講対象	広告会社、制作会社、Web制作会社などの若手アートディレクターやデザイナー ※学生の方の受講はご遠慮いただいております。
会場	東京・南青山
定員	70名
受講料	168,000円(税込・申込金1万円を含む)
お問い合わせ先	株式会社宣伝会議 アートディレクター養成講座事務局 東京都港区南青山5-2-1-4F Tel:03-6418-3330 Mail:arts@sendenkaigi.co.jp

ARTS 2011

# TEACHER

講師陣

※過去実績。変更になる場合がございますのでご了承ください。

青木克憲

Katsunori Aoki

秋田 寛

Kan Akita

秋山具義

Gugi Akiyama

石井 原

Gen Ishii

伊藤直樹

Naoki Ito

植原亮輔

Ryosuke Uehara

大貫卓也

Takuya Onuki

大溝 裕

Hiroshi Omizo

柿木原政広

Masahiro Kakinokihara

葛西 薫

Kaoru Kasai

加藤建吾

Kengo Kato

金子 敦

Atsushi Kaneda

川口清勝

Seijo Kawaguchi

北川一成

Issei Kitagawa

小西利行

Toshiyuki Konishi

古平正義

Masayoshi Kodaira

近藤 忠

Tadashi Kondo

左合ひとみ

Hitomi Sago

佐々木宏

Hiroshi Sasaki

佐藤可士和

Kashiwa Sato

佐藤直樹

Naoki Sato

沢田耕一

Koichi Sawada

清水正己

Masami Shimizu

鈴木克彦

Katsuhiko Suzuki

副田高行

Takayuki Soeda

高草木博純

Hirozumi Takakusaki

田中 元

Gen Tanaka

丹野英之

Hideyuki Tanno

永井一史

Kazufumi Nagai

仲條正義

Masayoshi Nakajo

中島祥文

Shobun Nakashima

中島英樹

Hideki Nakajima

信藤洋二

Yoji Nobuto

平林奈緒美

Naomi Hirabayashi

日高英輝

Eiki Hidaka

水口克夫

Katsuo Mizuguchi

水野 学

Manabu Mizuno

宮田 識

Satoru Miyata

森本千絵

Chie Morimoto

山田英二

Eiji Yamada

寄藤文平

Bunpei Yorifuji

● 基礎講義・特別講演 ● 課題演習・卒業制作

1	開講式 + 特別対談	ARTSを受講するにあたっての心構えと、卒業制作に取り組む意義を講義。
2	デザインと企業ブランド	企業の姿勢を伝えるためのブランディングと、そのためにいかにアートディレクションが必要かを学び、経営者視点を学ぶ。
3	アートディレクターとして成長するための心構え	デザイナーではなく、アートディレクターとしてこれから成長していくために必要な考え方を学ぶ。
4	課題1 / DMのアートディレクション	季節のイベントに合わせて、そこに誘導するためのDMを作成。実際に郵送にて届いた時の気持ちを想像して作る方法を学ぶ。
5	CIにおけるアートディレクション	企業のブランドや経営戦略をくみ取ったCI、VI、シンボルマークなどの策定方法を事例を通して学ぶ。
6	イラストレーションを使ったアートディレクション	キャラクターのデザイン、イラストマップ、ビジュアルアートなどイラストレーションを駆使したアートディレクションを学ぶ。
7	課題2 / 新聞広告	新聞の15段広告を作成。同時にその新聞広告が目目されるような、発展的アイデアをプレゼンし、講師が講評する。
8	アートディレクションとデザイン	アートディレクションとデザインの違いを学び、デザイナーからいかにステップアップを計るかを学ぶ。
9	Webデザインとアートディレクション	紙とWebの違い、グラフィックデザインとWebのデザインの違いなど、Webサイトのアートディレクションを学ぶ。
10	課題3 / ロゴを作る	与えられた課題に対し、ロゴタイプとシンボルマークを作成し、ロゴデザインの基礎を学ぶ。
11	特別講演 / アートディレクターの発想1	トップアートディレクターが語るアートディレクション術。今の時代にアートディレクターが果たすべき役割と考え方を学ぶ。
12	課題4 / エディトリアルデザイン	雑誌メディアの特徴を踏まえ、レイアウト、文字の大きさや色など、エディトリアルデザインの基礎を学ぶ。
13	特別講演 / アートディレクターの発想2	トップアートディレクターが考えるアートディレクターのあるべき姿やアイデアの思考法を学ぶ。
14	グラフィックツールのアートディレクション	フライヤー、リーフレット、ノベルティなど、ツール・小物類のアートディレクションを学ぶ。
15	アートディレクションとタイポグラフィー	フォント、文字間、余白など、文字による表現全般のアートディレクションを学ぶ。
16	課題5 / パッケージデザイン	商品のパッケージを制作。ただ美しいデザインだけでなく、店頭でどう機能するかを踏まえたアートディレクションを学ぶ。
17	表現手法とデザイン	表現方法のバリエーションを身につける。素材、色、形などをデザインにプラスして、どう伝えるかを学ぶ。
18	写真のアートディレクション	写真集、雑誌、カタログなど、写真を多用するメディアのアートディレクションを学ぶ。
19	特別講演 / クリエイティブが社会に果たす役割	社会を勇気づけたり、感動を与えたりする広告・クリエイティブの社会的役割を学ぶ。
20	特別講演 / コピーライターとのコラボレーション	効果的な共同作業の仕方、相乗効果を出すための動きなど、コピーライターの考えを知り、アートディレクションに活かす。
21	卒業制作課題1	課題テーマの企画書を作成し、それを基にコンセプトをプレゼン。その場で丁寧な講評を受け、次回提出のラフ案に活かす。
22	商品開発から関わるアートディレクション	新たな商品やブランドを立ち上げる際の商品コンセプト策定からパッケージデザインまでの考え方を学ぶ。
23	課題6 / ポスターデザイン	ポスターデザインとその商品のロゴを作成する。ポスターというメディアの特徴を活かしたアートディレクションを学ぶ。
24	特別講演 / コミュニケーションデザイン1	アートディレクターが中心となるコミュニケーションデザインの方法と、他のスタッフの動かし方を学ぶ。
25	卒業制作課題2	ラフ案を所持し、卒業制作課題のプレゼンを行う。担当講師から直接フィードバックを得て、最終案をまとめる。
26	特別講演 / コミュニケーションデザイン2	ソーシャルメディアなどデジタルを駆使したキャンペーン事例から、アートディレクターの関わり方を学ぶ。
27	CMのディレクション	テレビCMやWebのムービーなど、映像関連全てに通ずるアートディレクションの考え方を身につける。
28	課題7 / Art Direction Free	アートディレクションの力で解決できる日常の課題を探し、アイデアを発表。社会の中でデザインの力がどう役立つかを学ぶ。
29	卒業制作課題3	第2回の評価を踏まえ、作品をカンパで提出、企画意図のプレゼンを行う。
30	修了式 + 特別対談	全ての課題の中から優秀作を発表。全30回を通した総まとめとして、受講生に対するメッセージを送る。

※カリキュラム内容や課題内容は変更になることがあります。予めご了承ください。

ARTSのカリキュラムは、【基礎講義】【特別講演】【課題演習】【卒業制作】の4階層から成り立ちます。基礎講義や特別講演では一流のアートディレクターに必要な「考える力」「デザインの力」「伝える力」の3要素を学びます。そして学んだことを土台として、課題演習と卒業制作に取り組みます。一流のアートディレクターに基礎から応用までを体系的に学べるカリキュラム構成です。

Contents 1

● 基礎講義・  
事例をベースに一流講師が基礎を教える

基礎講義では、一流の講師が実務に活かせるアートディレクションの基礎を教えます。「考える力」「デザインの力」「伝える力」の3つの要素を講師が手がけた事例を基にして、理論的に学ぶことができます。受講生の方々が日常業務で抱く疑問や迷いに対する回答と気づきを得て、アートディレクターとしての基礎力をつけるプログラムです。



Contents 3

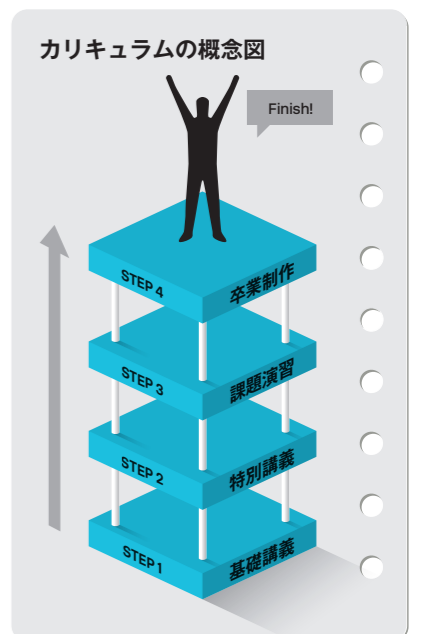
● 課題演習・  
他流試合で力試しをする課題演習クラス

エディトリアル、パッケージ、DM、ポスターなど、各メディアごとの特徴や、インサイトを捉えた課題に取り組み、プレゼンをします。実務で経験のないテーマの場合でも、自分の力をぶつけ、講師からフィードバックを受けることは他では得られない経験になり、本講座で最も力がつくポイントです。課題演習の場を最大のチャンスと考え、普段の仕事以上に心血を注ぎこみ作品を仕上げることで、自分の可能性を広げていくことに繋がります。

Contents 2

● 特別講演・  
現代のアートディレクターに  
求められる考え方を、  
トップクリエイターから学ぶ

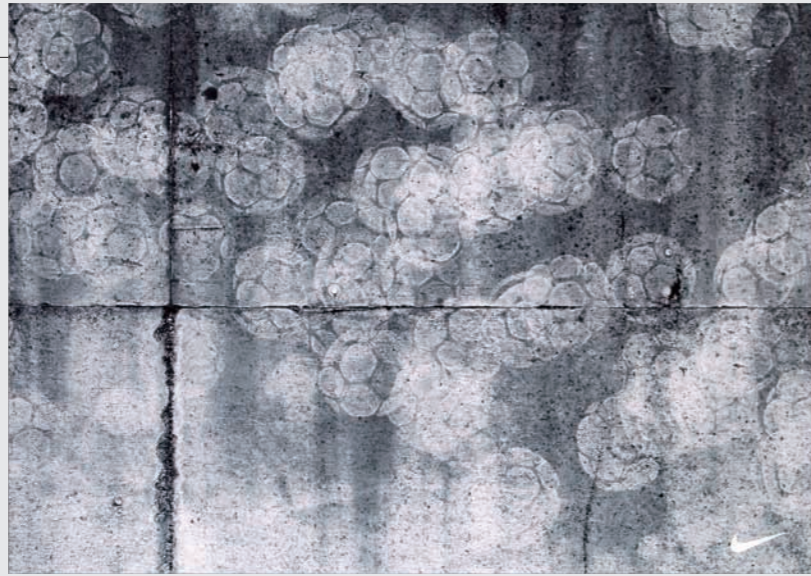
特別講演ではデザイナー出身のクリエイティブディレクター、コピーライター、プランナーなどを招き、アートディレクターとの共同作業で、どのように成果を上げるか、その秘訣を講義します。アートディレクター以外の考え方をすることで、自らの考え方に幅を持たすことができ、他のスタッフとの、効果的な連携の取り方を学ぶことができます。



ARTSのカリキュラムにおける4階層は、右下の図のような形で折り重なっています。3つの力を養う基礎講義と特別講演、実力に折り紙付きの講師からの直接指導でぐっと力を伸ばせる課題演習と卒業制作を組み合わせることで、アートディレクターへの着実なステップアップを計ることができます。

## 2006 Gold Prize : Kouichi Kosugi

世の中で活躍しているアートディレクターの方の作品や考え方や人柄に直接触れ、自分もそんな風に活躍して注目してもらえようというアートディレクターになっていきたいと思いました。先生方、ARTS事務局のみなさま、半年間ありがとうございました！（小杉幸一）



## 2007 Gold Prize : Kohei Kameda

デザイナーとして、9年目ですが、第一線で活躍される講師の方々の考え方を聞くことが出来、多くのことを学びました。また、同期の方々と交流はとても楽しく、お互い刺激しあう事ができました。（亀田浩平）



## 2008 Gold Prize : Junko Igarashi

正直なところ、仕事をしながらのARTS受講はとても大変でしたが、講師の方々のお話・課題制作を通して、考え方や時間の使い方の大切さに気付いて、いい経験が出来ました。（五十嵐淳子）



## 2009

Gold Prize :  
Ken Okamura

いろんなデザイナーの方々のデザイン手法や考え方を知れたことが自分を見つめなおすとても良い機会になりました。充実した時間と卒業課題の金賞、ありがとうございました。（岡室健）

## 2010 Gold Prize : Shuhei Kuwabara

気付かされ、猛省させられ、勇気づけられ、いくつもの大事な言葉をいただきました。あとは、自分がどう考え、どうなっていきたいか。精進します。（桑原秀平）

●2006年と2007年の課題テーマ：「NIKE」など6社の中から1社を選び、企業広告もしくは商品広告を制作。グラフィックであれば媒体選定も自由。原寸カンパを提出。●2008年の課題テーマ：「朝日新聞」など4社の中から1社を選び企業広告もしくは商品広告を制作。グラフィックであれば媒体選定も自由。原寸カンパを提出。●2009年と2010年の課題テーマ：自分の出生地（都道府県や市町村などのエリア）の広告、グラフィックであれば媒体選定も自由。原寸カンパを提出  
※本ページの作品やコメントは「ブレーション」より抜粋したものです。



### 講師のディレクションで 飛躍的に伸びる 集大成となる卒業制作

講座の集大成として取り組む卒業制作。ARTSの中でも最大の腕試しです。宮田識氏（ドラフト）と副田高行氏（副田デザイン制作所）の2クラスに別れ、全4回の講義を行います。第1回目の開講式にて、テーマの発表をし、第2回目に企画書とコンセプトを作ります。そして、第3回目はラフ案とコンセプトを、そして最終回にはカンパを作成します。ここで、優秀作に選ばれ、その実績を讀み月刊「ブレーション」に掲載されます。

講師は、デザインの良し悪しだけでなく、そのアートディレクションがいかに機能しているかという視点で評価をし、全ての講義で直接フィードバックを行います。講師からの丁寧なディレクションを繰り返し受けることで、自分一人では辿りつけないレベルまで達することができます。さらに、2回目以降の講義でもプレゼンの機会があり、企画意図を伝えるプレゼンのトレーニングにもなります。（写真左：副田高行氏 写真右：宮田識氏）

### 「自ら考えられる力を持ち、社会に 貢献するアートディレクターを育成 する講座に」

宮田氏と副田氏のインタビューは、4月30日発売のブレーション誌面とWebサイトにて、公開予定です。ぜひ、御覧ください。

### 【ARTS 修了生 受賞広告賞例】

第68回毎日広告デザイン賞（最高賞）／第69回毎日広告デザイン賞（優秀賞）／第50回朝日広告賞（朝日広告賞・準朝日広告賞・審査委員賞）／第48回カンヌ国際広告祭（銀賞）／2002年TDC賞（一般部門賞）／JAGDA 新人賞／2002年ニューヨークADC賞（特別賞）／第18回読売広告大賞（一般部門賞）／2002年ADC賞（ADC賞）／2003年ADC賞（ADC賞）／2003年ニューヨークADC賞（銀賞）／第52回朝日広告賞（朝日広告賞）／日本パッケージデザイン大賞（中島信也賞）／2006年ADC賞（ADC賞）／2009日経エコプロダクト展審査員賞／APAアワード2011 APA 経済産業大臣賞